

1983年 3月15日

《毎月10日、25日発行》  
第34号 6頁200円

定期購読料(1部22回)  
手渡し3000円/開封3500円/密封4000円

# 赫 せつき 旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行 東京都大田区大森北1-13-11  
電話(03)766-4729 東京7-86947  
編集・発行人 北沢 晋  
関西赤路社  
大阪市福島区大開1-19-13  
副島ビル 電話(06)462-7030

## 反対同盟の勇氣ある歴史的決断にこたえ

# 3.27横堀をうめつくせ

### 声 明

## 総会宣言・幹部会声明断固支持 三・二七横堀へ 全国から結集し三里塚闘争の勝利の道をあゆもう

### 共産主義者同盟 中央常任委員会

#### 一、反対同盟の総会宣言・幹部会声明を断固支持する

すべての反対同盟のみならず、全国の闘う労働者人民のみならず、

三月八日、三里塚反対同盟は歴史的総会を開き、北原事務局長の解任、中核派との共闘関係の破棄、新役員体制と三大方針を決定し、勇氣と熱あふる総会宣言を發表した。

総会は、まさに反対同盟の名において圧倒的多数の農民の総意として闘い取られた。三月三日の幹部会声明に対して横堀、中倉津、浅川、稲葉、坂志岡、千代田、中郷、飯櫃と次々に支持の部落決議があり、またたく間に一四五戸、二四三名の支持署名が集められ、三・八総会は一六〇名の結集で開かれていた。また総会は、熱田一行動隊長を反対同盟代表に、多くの用地内役員を含む新役員体制を選出した。

これら諸事共々、昨十二月十六日発行役員会に於て一坪再共有化運動が決定していないという中核派の反対同盟に対する敵対に、三里塚農民自らの手によって答が出されたことをわづかしている。こうした意味において、総会宣言は幹部会声明に続き、いま三里塚農民がこのことによる組織の混乱と危機を突破し、反対同盟の自立と強化を握りしめて、農地死守二期実力阻止・空港完全廃

#### 二、総会宣言の歴史的意義を確認する

侵略軍事空港建設に反対して、日帝ブルジョア国家権力と真正面から実力対決してきた三里塚は、

全人民武装 労働同盟 社会主義統一戦線の萌芽を育みつつ、六十年代後半から七十年代の全期を

貫いて今日に至るも、日帝の戦争と反動に対決する巨大な反戦の戦場、全人民闘争の場である。

わが共産主義者同盟は、革命と労働者階級人民解放の大義において、先の幹部会声明と共に、この総会宣言を断固として支持することを表明する。われわれは、反対同盟の不逞の決意に心の底からの敬意と連帯を表明し、共に三里塚闘争の勝利をめざして最後まで闘うことを表明する。

同時にわが同盟は、全国の先進的労働者・人民に訴える。反対同盟の総会宣言を支持し、三里塚十七年の歴史と不屈の闘魂に心をこめ、三・二七横堀共同闘争に結集し、共に三里塚闘争の全期闘争を整えよう。

政治的代理人である政府・公団をして、二期着工一完全開港の野望を破綻させ、その政策転換を余儀なくさせており、廃港の可能性を開きつつある。

この間の同盟に対する一話し合い、攻撃、農民分断・同盟解体攻撃は、まさにこうした敵の危機の姿に他ならない。これはこれで、一月六日の公団総裁中村の発言にみるべきとき、死活的な同盟切りくずしの攻撃を強めるにちがいない。

そうであるが故に、反対同盟にはこの間、一方での空論的待期主義・敗北主義と、他方での一話し合い・攻撃への屈服の傾向と二線を画しつつ、敵の攻撃をはわかし、持久戦を辞さない反対同盟の戦術的団結を守って、空港絶対反対・実力闘争堅持・農地奪還・闘う農業を進展させ、二期着工阻止・空港廃港の新たな攻勢に出ることが問われた。昨十二月一六日発行役員会の大地共有化をふくむ方針決定こそ、この局面で勝利に向う大道を開かんとするものであった。

こうした事情をよまざるならば、この局面で、日本共産党に絶縁状態をたたくつけて新たな実力闘争の地平を開いた十六年前の第二次総会に次いで、今また不逞の決意で開かれた今総会の位置・意義、その重大さも明らかといえます。

総会の意義について、わが同盟は次のように考へる。

まず第一に、三里塚闘争の主人公・主体が何よりも三里塚農民自身であり、闘う反対同盟の自立・自力更生の原則を確認し、その戦術的団結と強化を闘い取ったことである。

闘う農民の様々な困難・苦闘を、反対同盟員一人一人の自立した創意と知恵で克服し、より豊かな闘いを育むことを尊重せずして、連帯や共闘は成立せず、まして三里塚闘争の勝利はありえないと考へるからである。

こうした最も原初的・根本的な原則を勇氣ある態度でしめた総会こそ、三里塚反対同盟十七年の歴史に脈々と流れ、受け継がれてきた農民の闘魂と、二期着工阻止・廃港への新しい一歩を画す主体の成熟を象徴するものである。

## 「83年政治決戦」春期行動スローガン

一、中曽根自民党政権を實力で打倒せよ！  
労働者階級は反安保、反侵略、反改憲の全人民闘争の牽引車たれ！  
起とう！ 青年は反戦・反安保闘争の先頭へ！

一、朝鮮・アジア人民と連帯し、日米攻守・軍事同盟―米日韓三角軍事同盟化打破！  
・中曽根「不沈空母」構想粉碎！  
・エンタープライズ佐世保入港・母港化阻止！  
・極東へのトマホーク配備阻止！

一、「戦争遂行国家」完成めざす改憲阻止！  
・優生保護法改悪阻止！  
・刑法改正「阻止」！  
・保安法改訂阻止！  
・監獄法・拘禁二法の成立阻止！  
・保

一、三里塚二期実力阻止！ 大地共有・収用権不存在確認訴訟・自主耕作運動勝利！

一、83倒閣春闘勝利！ 強まる失業・首切り・賃金抑制・行革攻撃と闘おう！ 全民労働反対！ 「労組連」を強化しよう！

一、戦争と反動・金権・腐敗の自民党弾劾！  
・労働者階級人民の利益を守る候補を議会へ！  
一、社共にかわる革命的労働者党創建めざし、「共産主義者の建党協議会」準備会議結成しよう！  
一、闘う労働者・青年諸君！  
来たれ！ わが共産主義者同盟に！

政治的代理人である政府・公団をして、二期着工一完全開港の野望を破綻させ、その政策転換を余儀なくさせており、廃港の可能性を開きつつある。

この間の同盟に対する一話し合い、攻撃、農民分断・同盟解体攻撃は、まさにこうした敵の危機の姿に他ならない。これはこれで、一月六日の公団総裁中村の発言にみるべきとき、死活的な同盟切りくずしの攻撃を強めるにちがいない。

そうであるが故に、反対同盟にはこの間、一方での空論的待期主義・敗北主義と、他方での一話し合い・攻撃への屈服の傾向と二線を画しつつ、敵の攻撃をはわかし、持久戦を辞さない反対同盟の戦術的団結を守って、空港絶対反対・実力闘争堅持・農地奪還・闘う農業を進展させ、二期着工阻止・空港廃港の新たな攻勢に出ることが問われた。昨十二月一六日発行役員会の大地共有化をふくむ方針決定こそ、この局面で勝利に向う大道を開かんとするものであった。

こうした事情をよまざるならば、この局面で、日本共産党に絶縁状態をたたくつけて新たな実力闘争の地平を開いた十六年前の第二次総会に次いで、今また不逞の決意で開かれた今総会の位置・意義、その重大さも明らかといえます。

総会の意義について、わが同盟は次のように考へる。



# 3大方針で二期

## 3・27 三三三 三里塚空港粉砕全国 総決起集会への案内状

人の優しさを組織せずしてどうし 権力を負かすことができようか

三・八反対同盟総会において、私たちは、来る三月二十七日の全国集会を、二期用地内、横堀共同墓地で行なうことを決定いたしました。

一坪再共有化運動を契機としておこった反対同盟内の混乱に、二期用地に心を寄せ、多くの方々に御心配をおかけしておりますが、同盟総会に臨んだ私たちが抱いていたものは、村のこまやかな心を大切に、一人一人の意見や戦いが尊重される運動体でありたいという願いでした。

この混乱は、かつて反対同盟が共有していたおろかなたたかひの心を失ったことによるもので、これからは、私たちが考えています。このことを素通りして、これから二期用地のなかに、空港をおしよぶ人民の大きな波をつくりだすために、横堀共同墓地に皆さまの集まりをお願いいたします。

一九八三年 三月十日  
三里塚芝山連合空港反対同盟 代表 熱田 一  
千葉県山武郡芝山町荻田 青行隊事務所内  
日時 三月二十七日(日) 正午  
場所 横堀共同墓地

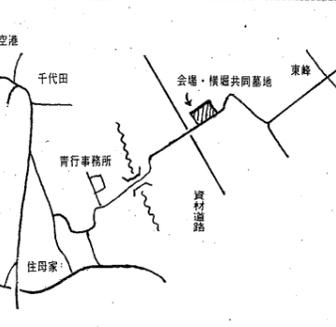


3.8 第3回反対同盟総会

## 大地共有運動の主な経過 (11月28日～3月8日)

- 11月28日 反対同盟青行隊 (一坪再共有運動をやる、という事決定、30日の実行役員会に提起することになる)
  - 11月30日 反対同盟実行役員会 (再共有運動の提起は事務局会議で検討し直し、実行役員会に再提起すること確認)
  - 12月12日 反対同盟事務局会議 (検討した結果、青行隊ではなく、新しく事務局会議で提案することが確認される)
  - 12月16日 実行役員会 (事務局提案の一坪再共有化運動を含む四大方針が決定、共有委三名選出)
  - 12月23日 事務局会議 (共有委員は各学区一名づつとする事が確認される)
  - 1月9日 旗開き (北原事務局長、菅沢事務局次長の了解を得て、「一坪再共有運動」とり組みの御願い、配布される)
  - 1月27日 実行役員会 (数名から共有運動反対意見。12月16日には共有運動は決まっているという事は了解されたが、運動の進め方ではいろいろな意見がある。会議は流会に)
  - 2月12日 革共同中核派、「一坪再共有化」に全面的に反対する、という声明を発表する
  - 2月16日 北原氏事務局長名で、共有運動について同盟は、「なんらの決定をくだしていない」との文章を公表
  - 2月28日 大地共有委員会「一坪再共有化運動取り組みの御願い、その二」(横堀反対同盟決議) (※今号資料参照) 配布/東峰団結小屋「一坪再共有化運動をおすすめしよう」という声明を発表/実行役員会開会されず
  - 3月1日 中核派再び革共同声明を発表
  - 3月2日 北原氏事務局長名で、「声明」と「経過」を発表
  - 3月3日 「幹部会声明(※同)」発表
  - 3月5日 共産主義者同盟、三里塚・大地共有運動に反対する中核派を批判す、という声明を発表
  - 3月6日～7日 七部落反対同盟で決議(※同)あがる
  - 3月8日 反対同盟総会(※同)開催
- ▷ 参考資料 (一御願い、その二「反対同盟新聞」等)をもとに編集部で編集しました

## 会場案内



▼当日は横堀行き臨時貸切バスを京成成田駅前より十時から運行する予定です。▼なお、乗りきれない場合は、左記のバスを利用して下さい。

▽国鉄バス(国鉄成田駅前発) 多古行きか八日市行き  
出発時間→八時四十分/九時十分/九時五十分/十時五分/十一時十分/十一時五十分  
▼千代田か住家まで下車(乗車時間は通常では四十分程度)バス停から会場まで約三・九キロメートル(バス停から会場まで案内板をたてます)

## 共同決議

### 三里塚闘争現地支援連絡会議

私達、支援連絡会議は、反対同盟の総会宣言を断固支持し、あためて確認し、反対同盟とともに最後まで闘います。

私達は、農地死守・空港絶対反対・実力闘争を堅持し、成田用水・話し合い攻撃などの一切の反対同盟内分断・懐柔策を許さず、二期阻止・廃港をめざします。

反対同盟は、総会の場において毅然たる態度をもって中核派との共同関係を断つことを宣言しました。私達は、これを教訓とし、三里塚闘争を現地で闘う農民組織・反対同盟の総意と方針を最も尊重し、現地のいかなる活動においてもいかなる行動においても現地反対同盟の同意をもとに、反対同盟との綿密な連絡を保持し、共同体制を整えることを約束する(一九七七年十一月、四日反対同盟の基本的

- 原則と闘争の姿勢について)を
- 三・八第三次反対同盟総会において反対同盟は、自らの闘争方針を自らの責任において討議し、決定し、勝利に向けた体制を確立しました。
- 総会宣言で示された三大闘争方針(事業認定失効全国キャンペーンと裁判闘争・一坪再共有化・自主耕作・自主基盤整備)を支持し、三・二七大結集でたたかいます。
- 私達は、用地内外の反対同盟と固く団結し、ともに勝利を勝ちとるために固く決意を明らかにします。
- 以上、支援連絡会議は決議します。
- 一九八三年三月十日
- 官並団結小屋
  - 坂志団結小屋
  - 三里塚木の根労働者生共闘会議
  - 三里塚闘争連帯労働者共闘会
  - 三里塚闘争学生連帯会議
  - 11・30実行委員会・三里塚現闘
  - 人民連帯中核団結小屋
  - 青年共産主義者同盟連帯(住母家)団結小屋
  - 戦旗・共産主義者同盟・三里塚現闘
  - 東峰団結小屋
  - 中谷津団結小屋
  - 反帝戦線全国委・三里塚現闘
  - プロレタリア青年同盟・三里塚現闘
  - 辺田団結小屋
  - 労働青年団・三里塚現闘
- 一九八三年三月十日

## 緊急声明

### 三里塚芝山連合空港反対同盟 幹部会

我々反対同盟は十七年間に亘る一丸となって空港反対、農地死守の闘争を堅持してきました。其の輝かしい歴史の上に立って更に政府空港公団を追い詰めて二期工事阻止、空港粉砕の大進軍とするの途にあってこの様な声明を出す事は断腸の思いである。然し我々反対同盟は三里塚闘争の誇りにかけて大義の闘争を貫徹する為には重大な決意をもって反対同盟各位、並びに全国の人民に訴える。

我々反対同盟は昨年十一月十六日の実行役員会に於て一九八三年度の運動方針を満場一致で決定した。それは取用権限不存在確認訴訟、一坪再共有化運動、自主基盤整備、北原事務局長を糾弾する、に於ける北原事務局長は、三月十六日付、二月二十日付の二度に渡る事務局長声明に於て、その真実をねじ曲げ一坪再共有化運動を否定する行為に出た。この声明文は三里塚芝山連合空港反対同盟と明記されているが、

実行役員会に於て北原事務局長に対する責任問題が噴出して、二度にわたる声明の撤回と謝罪を求める訴えが菅沢事務局次長をはじめ大多数の事務局員の連名に依って提出された。

然しながら北原事務局長は多数の不信の声を無視し、またしても三月三日反対同盟の名をかたむけた声明を発表すると云ふ許す可からざる行為に出た。この声明文は三里塚芝山連合空港反対同盟と明記されているが、

役員会での決定を無視し、勝手な解釈を基本に反対理由を同盟員に押しつける事など、かつての三里塚闘争の中にもありませんでした。これは中核派の利害をもつて、同盟員同志の信頼を分断する許し難い行為であります。

かつて行われた一坪再共有化運動がその過半数を失っても、現在なお反対闘争の拠点として多くの同志を守ろうとする事は三里塚闘争の強化にこそなれば後退する事ではないと考えます。なぜならこの運動は用地内を主軸とし、これを守る闘いの要であるからです。

私達横堀部連帯同盟は一坪再共有化運動の主旨を支持・実践し、これを積極的に進めるにあたって、この中核派による運動妨害を厳しく指摘し、同盟員に対する批判文書及び言動を即刻撤回することを求めます。

二月二十七日部連帯集會に於て、以上の意見が出され一坪再共有化運動を推進し、公団の二期着工攻撃をねわのけていくことを私たちは確認するに到りました。

反対同盟の総力をもちこの運動を成功させようではありませんか。

一九八三年二月二十八日 横堀部連帯反対同盟

この間の中核派のような反対同盟員に対する誹謗中傷を行なう支援団体の浅川、稲葉、飯櫃部連帯への侵入を禁ずる。

なお、反省し、くい改めるならば、この限りではない。

一九八三年三月六日 浅川、稲葉、飯櫃部連帯反対同盟

部連帯決議

一、北原事務局長の解任を要求する。

一、同盟員及び反対同盟の方針に敵対し誹謗中傷する中核派と解放派の部連帯立ち入りを禁止し其間関係を断つ。

以上、中核派集會の総意によつて決定しました。

我々は今後農民が主体となった斗争を展開していく決意である。

一九八三年三月七日 中核派反対同盟

役員会での決定を無視し、勝手な解釈を基本に反対理由を同盟員に押しつける事など、かつての三里塚闘争の中にもありませんでした。これは中核派の利害をもつて、同盟員同志の信頼を分断する許し難い行為であります。

かつて行われた一坪再共有化運動がその過半数を失っても、現在なお反対闘争の拠点として多くの同志を守ろうとする事は三里塚闘争の強化にこそなれば後退する事ではないと考えます。なぜならこの運動は用地内を主軸とし、これを守る闘いの要であるからです。

私達横堀部連帯同盟は一坪再共有化運動の主旨を支持・実践し、これを積極的に進めるにあたって、この中核派による運動妨害を厳しく指摘し、同盟員に対する批判文書及び言動を即刻撤回することを求めます。

二月二十七日部連帯集會に於て、以上の意見が出され一坪再共有化運動を推進し、公団の二期着工攻撃をねわのけていくことを私たちは確認するに到りました。

反対同盟の総力をもちこの運動を成功させようではありませんか。

一九八三年二月二十八日 横堀部連帯反対同盟



# 日雇・寄せ場に春期攻勢



日雇全協の旗のもと横浜市差別行政糾弾団交  
に起った山谷、寿の日雇労働者と支援(3.7)

## 青力へ労働者への差別・虐殺糾弾

横浜の寿町周辺(地下繁華街公園、野球場)の青力(野力)労働者に対する中学生少年たちの集団的な連続殺人事件がブルジョアマスコミをにぎわしている。

この事件は、寄せ場や飯場などを生活拠点とする日雇労働者層のうち、慢性的なブルジョア地獄の中で野垂れ死の淵に追いこまれた窮乏層に対する

の強権的な内外にわたる再編が進行している途上の少年による差別・虐殺事件の発生は、今中曽根ブルジョア政治委員会の遂行せんとしている戦争準備・政治反動・生活破壊攻撃と軌を一にした差別・分断・保安処分思想に動員された社会的勢力の胎動の基礎がすでに胎動していることを示すものである。

「平和と民主主義」を標榜する戦後議会制民主主義の外皮がはぎとられ、個別に激発する社会的矛盾が、八十年代、敵の反革命的な社会再編として煮つめられ、これを帝国主義戦争に動員する基礎が形づくられてきた。

時代は、まさに敵が先行的に攻撃を組織している。戦争と革命をめぐる危機を体現している。そのそれは帝国主義戦争と対決する勢力の組織化にむけて社会主義をめざす階級的労働運動を主戦場に、一挙にわれわれ自身が躍り出ることを求めているのである。

### われわれの春闘の現場から

## 暴力飯場追放！ ケタオチ賃金

## 釜ヶ崎春闘始まる

暴力飯場追放、ケタオチ賃金追放めざし、釜ヶ崎春闘闘争が始まった。二月八日の第一回労働者討議会に引き続き、三月一日、第二回目の集会が開かれた。

勢の増大として、中曽根自覚党政府より戦争準備が急がれており、また、釜ヶ崎に深刻化し、ブルジョア地獄が深刻化し、われわれの生活条件そのものが極度に悪化している。われわれが団結し、調査班を各早配り、

## 安保の現段階

(2)

一月二日、米議会に「八四」よ、軍事戦略の基礎をなす会計年度国防報告と軍事情勢報告が提出された。レーガン政権下で度目になる報告は、カーター政権後半から始まった一連の脅威論による軍事世界戦略の見直し・再編をより集約化・体系化し、きわめて実戦性の高いものになっている。

## 米国防報告の四つの危険

想定、(a)中米地域が「ソ連」よって吹きまかれ編成された浸透勢力の標的にされている。等のように、民族解放闘争をソ連の浸透といたして脅威と

前編編成を維持しており、これは同盟国軍と合同して西欧、日、韓の通常兵器による防衛の第一線を作っている。戦争がおこれば、長距離にわたって急速に展開できる兵力を利用して、これらの前編編成部隊を補強する。レーガンは全世界

展開するという構成に示される

展開第一、(a)防衛戦略で軍

特に対応すべき脅威として①軍事力の影②民衆反乱③武力攻撃④核⑤に「一つも」も低い脅威に反対し平和維持活動の必要性の増大をあげ、再活性化計画として「十年間手を

新たな全国同盟を「中曽根自覚党政府打倒・二期勢力阻止・廃止」へ向けていくために、大地共有運動の第一の意義は、これが二期勢力阻止の態勢と廃止への人民の意志を固めていくことである。第一の意義は、三里塚闘争を再び三たび「中曽根自覚党政府打倒の闘争」の発展のために、政府・公団は七八年三・二六以降、主要な戦術を反対同盟の内閣解体促進においてきた。だからこそ反対同盟の内部矛盾を主体的な共同事業として克服する作風は優れている。中核派の態度と行動はこの作風に敵対するものである。人民内部の矛盾の正しい解決、行動の中で示す。

## 三里塚・大地共有運動に反対する革共同 中核派を批判す(要約)

共産主義者同盟 三月五日

序文 反対同盟は昨年一月にかけた討議を経て、政府・公団の二期勢力阻止を攻撃的に粉砕していくため、収用権不存在確認訴訟、自主耕作・自主農業整備の闘いと成田市議選勝利、そして一坪再共有化運動・大地共有運動の方針を決定しその表現に着手してきた。その矢先二月十二日、中核派は「一坪再共有化」に至るまで反対同盟を名指しして、更に「前進」紙上で大地共有委員会の反対同盟を名指しして批判するという暴挙に出た。この中核派の態度と行動の結果、決定された四つの方針の表現が困難になり、同盟内の団結にヒビが入り、分断していく可能性も生じている。われわれは全国の闘うみなさんに中核派の不当な誹謗中傷を弾劾し、ぜひ四大方針の貫徹と大地共有運動に総決起されることを訴える。

# 女性差別と闘う労働運動の構築を

## 優生保護法改悪攻撃の本質

三月十日激しい雨の中、優生保護法改悪阻止大会が、二千人の集まりをもって開かれた。現在、優生保護法改悪をめぐる情勢は、厚生省が国会への上程を明らかにし、四月中旬のタイムリミットを前に、正念場を迎えている。

昨年三月、参議院選挙での、生長の家出身議員、村上正邦の発言

で火がたがきつた法改悪攻撃は、八月八日衆議院議員会への優生保護法設置による人格化し、生長の家政治指導機関である中曾根の首相就任により、いよいよ決定的なところまで進んでいる。われわれは中曾根自派政府と対決し、こうした帝国主義共産主義のトクをいかに打ち砕き、女性解放運動の前進をせよと闘わなければならない。

このように刑法堕胎罪、優生保護法は、一対一になって、一方が女性を管理・支配し、女性が政府・資本にたいして「良質」



3・13 優性保護法改悪阻止大会後 女性達の出発する様子

『女性解放通信』創刊号発刊！  
パンフレット 28頁 400円  
編集／『女性解放通信』編集委員会  
発行／赤路社

「胎児が重度の精神又は身体的障害の原因となる疾病又は欠陥を有しているおそれがある」と認められるものの中絶を許可する。このように今回の改悪攻撃は、八五年体制「総合安全保障」戦略の下、中絶の禁止「堕胎罪」の強化として、女性の性を厳しく管理し、もって女性を帝国主義国家に縛りつけ、ブルジョア家族制度へのテコ入れを行い、戦争準備「国家総動員体制」を打ち固めんとするものである。

と同時に、堕胎罪による女性差別強化と、優生思想にもとづく「障害者差別強化」の二本の柱を持つ徹頭徹尾反動的な内容に貫かれてはならない攻撃である。許してはならない攻撃である。

私的所有と階級の発生以来の女性差別の歴史の中で、女達の性的国家による男性の「子産み子育ての道徳」の道義」ときれつけられた。科学の進歩がいくら進んでも、今でも安全で完全な避妊法は知られていない。自分のものでない。国家によるブルジョアの性的文化意識の鼓吹に屈した男性性達、望まない妊娠、自らの意志で生み育てられる条件などほとんどない社会「労働者階級の賃金奴隷制」と女の「性奴隷制」の基礎の上に築かれる個別家族を構成単位とし、ブルジョア独裁を本質とする。の現実の中で苦闘する女性達の上に、今また堕胎罪が押しつけられてきた。女性達ももう黙ってはいない。改悪阻止の闘いは、必然的に、堕胎罪、優生保護法そのものの撤廃へと突き進むのである。

「胎児チェック」条項「妊婦に対し、羊水検査等を行い、胎児が障害をもっているかをチェックし、

ることで、八二選挙へと集結して、いよいよこの眼目があるといっても過言ではない。

彼らは、女性の抗議、憤激を女性解放への道すじに組織して、いくとほ全く無縁に、議会主義、改良主義の沼地に動員し、請願運動へ流し込もうとしているのである。

われわれは、七二七三年闘争において開始された反差別共同闘争の端緒を押し抜け、女性解放の主導力として、七十年代全期にわたって確立形成されてきた女性労働者を先頭とする全女性大衆の決起を打ち固め、階級社会の発生と共に始まった女性差別の全歴史を清算し、「二重のくびき」からの解放を、プロレタリア階級独裁と社会主義革命の闘いと結びつけていく綱領的路線の観点を強化してゆかねばならない。

そのためには、何よりも、女性解放が他ならぬ全労働者階級の闘うべき課題であり、社会排外主義、日和見主義指導部によって牛耳られ、その下で統制・抑圧されてきた労働組合運動、とりわけ労働婦人部運動の階級の再生の不可欠の課題として、女性差別と闘う労働運動構築に大胆に着手しなければならぬ。

日本帝国主義「ブルジョア階級は、官僚機構と労使安定に加え、社会の原単位たる家庭(一月四日中曾根所信表明を三つの柱として、改悪、戦争準備へと総動員せんとしている。「民族の活力と生命の尊重の名を以て、障害者は抹殺され、老人は切り捨てられ、女性は人柱とされる。われわれは、こうした帝国主義者共のドス黒い意図を打ち砕き、女性解放を掲げ、今こそ決起しなければならぬ。

優生保護法改悪攻撃を、女性を先頭に労働者階級の総力を結集して阻止し、堕胎罪、優生保護法撤廃をせよと闘う、女性解放と労働者階級の解放の結合を、

### 堕胎罪 - 優生保護法を貫く支配構造

### 「経済的理由」削除のねらいは何か

今回の改悪攻撃の背景には、低所得層の出生率と高齢化社会の進行という状況の中で、今までのように、あるいはそれ以上によっていくには「経済的理由」を確保し、一定量の「良質」な労働力を確保しなければならぬというブルジョア階級の判断がある。とりわけ、帝国主義戦争の道をたどる中で、こうした人口問題に彼らにとって「戦力の確保」という切実な要求も出てきた。

と同時に、われわれは、その「戦力」を産み出し支えるものと

して「家庭役割」に最大の焦点があてられていることに注目しなければならぬ。七九年総合安全保障の一環として「家庭基礎充実」構想が示され、今また中曾根は所信表明の中で「特に家庭の健全さを訴え、国家主義、国防イデオロギーを家族制度の再編、強化の問題として強調した。資本主義の危機の中で、今までのようにやっていけなくなった政府「ブルジョア階級は老人、保育、「障害者」問題を「自立、自助」の名の下に全て家庭責任に押しつけている。

更に青少年の「非行校内暴力

「胎児が重度の精神又は身体的障害の原因となる疾病又は欠陥を有しているおそれがある」と認められるものの中絶を許可する。このように今回の改悪攻撃は、八五年体制「総合安全保障」戦略の下、中絶の禁止「堕胎罪」の強化として、女性の性を厳しく管理し、もって女性を帝国主義国家に縛りつけ、ブルジョア家族制度へのテコ入れを行い、戦争準備「国家総動員体制」を打ち固めんとするものである。

同時に、堕胎罪による女性差別強化と、優生思想にもとづく「障害者差別強化」の二本の柱を持つ徹頭徹尾反動的な内容に貫かれてはならない攻撃である。許してはならない攻撃である。

私的所有と階級の発生以来の女性差別の歴史の中で、女達の性的国家による男性の「子産み子育ての道徳」の道義」ときれつけられた。科学の進歩がいくら進んでも、今でも安全で完全な避妊法は知られていない。自分のものでない。国家によるブルジョアの性的文化意識の鼓吹に屈した男性性達、望まない妊娠、自らの意志で生み育てられる条件などほとんどない社会「労働者階級の賃金奴隷制」と女の「性奴隷制」の基礎の上に築かれる個別家族を構成単位とし、ブルジョア独裁を本質とする。の現実の中で苦闘する女性達の上に、今また堕胎罪が押しつけられてきた。女性達ももう黙ってはいない。改悪阻止の闘いは、必然的に、堕胎罪、優生保護法そのものの撤廃へと突き進むのである。

「胎児チェック」条項「妊婦に対し、羊水検査等を行い、胎児が障害をもっているかをチェックし、

「経済的理由」削除のねらいは何か

刑法二二条(堕胎罪)は「懐胎の婦女、薬物を用ひ、又は其他の方法を以て、胎胎したる

時、一年以下の懲役に処す」と定めている。一八六九年明治政府による胎胎禁止法、一九〇

「経済的理由」を確保し、一定量の「良質」な労働力を確保しなければならぬというブルジョア階級の判断がある。とりわけ、帝国主義戦争の道をたどる中で、こうした人口問題に彼らにとって「戦力の確保」という切実な要求も出てきた。

同時に、われわれは、その「戦力」を産み出し支えるものと

「胎児が重度の精神又は身体的障害の原因となる疾病又は欠陥を有しているおそれがある」と認められるものの中絶を許可する。このように今回の改悪攻撃は、八五年体制「総合安全保障」戦略の下、中絶の禁止「堕胎罪」の強化として、女性の性を厳しく管理し、もって女性を帝国主義国家に縛りつけ、ブルジョア家族制度へのテコ入れを行い、戦争準備「国家総動員体制」を打ち固めんとするものである。

同時に、堕胎罪による女性差別強化と、優生思想にもとづく「障害者差別強化」の二本の柱を持つ徹頭徹尾反動的な内容に貫かれてはならない攻撃である。許してはならない攻撃である。

私的所有と階級の発生以来の女性差別の歴史の中で、女達の性的国家による男性の「子産み子育ての道徳」の道義」ときれつけられた。科学の進歩がいくら進んでも、今でも安全で完全な避妊法は知られていない。自分のものでない。国家によるブルジョアの性的文化意識の鼓吹に屈した男性性達、望まない妊娠、自らの意志で生み育てられる条件などほとんどない社会「労働者階級の賃金奴隷制」と女の「性奴隷制」の基礎の上に築かれる個別家族を構成単位とし、ブルジョア独裁を本質とする。の現実の中で苦闘する女性達の上に、今また堕胎罪が押しつけられてきた。女性達ももう黙ってはいない。改悪阻止の闘いは、必然的に、堕胎罪、優生保護法そのものの撤廃へと突き進むのである。

「胎児チェック」条項「妊婦に対し、羊水検査等を行い、胎児が障害をもっているかをチェックし、

「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて

# 党建設

××地方委



「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて

「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて

「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて



## 『赫旗』地方版武器にがんばる

「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて

「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて

## プロ独・社会主義革命と結びつく女性解放の綱領的深化を

「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて

「経済的理由」削除のねらいは何か

現在、わが同盟は四中総下の「闘い行動」を建設の闘いを全国で展開しています。そしてわが××地方委員会においてもその具体化のために、全力をあげていますが、その活動の中心に「赫旗」××版の発行をおいて